まふとする有様である。更彼等は東京と野田の二ヶ所に陣取って、東京には社長が滞在して官憲の諒解等の如き畫策のを、野田には両常務以下の重役が居て、一般的な且直接的な政策を行ってゐる

(ロ) 政策

會社の爭議に対する政策は頗る円滑的なものであり、一般ドコの資本家もやる彼等の常套手段を一歩も出てゐない。が、強いて擧げれば左の通りだ。

1、暴力團使用‖爭議勃發当初より數百名の暴力團を雇ひ入れて盛んに暴病せしめてゐるが、之は爭議團にとって何等の脅威でないばかりか、却って町民より反感を買って會社に頗る不利

2、新工員募集‖附近町村並に近縣地方に於て新工員を募集し、最初は若干の應募者もあったが、會社の酷使に憤慨し退場する者續出し、今日では應募者絶無

爭議團の運動

(イ) ピケッチング

3、切崩運動‖極く少數の裏切者があったに過ぎず、爭議團の結束が非常に強固なため、會社も此方法は斷念し、更に同日來舟業組合等の罷業に參加してゐない處迄其手を延ばして居る。

4、其他の政策‖會社は諭旨が機關を通じて從業員の懐柔を宣傳してゐるが、今工場で四千五百餘名のもので、平年に於ける本月の出荷に比すれば辛ふじて二割五分に及ぶだけである。而も不熟練者や經驗者を以て作業せしめてゐるために醤油の品質は頓に低下して、ために先月末より今月初にかけて、各地の問屋筋より數千樽を返荷された有様である。